

# 稲グリ新聞

〈発行〉  
早大グリーンクラブOB会  
稲門グリーンクラブ

〈編集〉  
加藤 晴生  
類原 信二  
佐々木 豊

160 新宿区百人町3-8-11  
読原方 ☎03(360)3336  
(毎月1回発行)

## 定演はOB会の最重要行事 みんな、みんな集まろう!!

幹事長 加藤 晴生(三七)

サントリー定演へ向けての練習もいよいよ佳境に入ってきました。四月から大先輩磯部さんの登場、桜楓合唱団、桜友女声合唱団との合同練習も始まり、十七日には堀君、岡村さんの参加、そして月末には「月下の一群」のウォーミングアップ開始。昨年の大阪四連での名演奏の再現を目指します。

練習参加者数も延べにして八十五名を超え、あと一息で一〇〇名オンステが可能となります。今年に入ってから一度も練習に出ていない人も今から参加すればステージに乗れます。ロシア民謡の歌詞は伊東君、玉崎さんの減私奉公的なご尽力により自宅練習用のカセットテープも準備されています。

## 空席が出ないようにしましょう ——デッドストックにご注意!

五月一日からチケットの発売を開始しました。出演メンバーへの割当て枚数は例年と変わりありませんが、金額的には諸経費の増加によりやや高くなります。サントリーでの定演ということと各方面にご理解いただきたいと思っております。それでも採算的には相当厳しいため、チケットの発行枚数のすべてを売り切る必要があります。また、折角の会場ですのでは是非満席にしたいものです。

四月後半からは練習出席者数が五十人台に乗り、いよいよ気合が入ってきている。ゴールデンウイーク中の出席者数も当初予想したほど少なくはなく、練習内容も一段と進んできた。しかし「ロシア民謡」は最大の難物で合宿での特訓に期待したい。「子供の歌」「世界の民謡」はほぼ音取りが終わり、暗譜にかかるとい段階にきています。

## 練習状況

四月後半からは練習出席者数が五十人台に乗り、いよいよ気合が入ってきている。ゴールデンウイーク中の出席者数も当初予想したほど少なくはなく、練習内容も一段と進んできた。しかし「ロシア民謡」は最大の難物で合宿での特訓に期待したい。「子供の歌」「世界の民謡」はほぼ音取りが終わり、暗譜にかかるとい段階にきています。

## 第22回定期演奏会までの活動日程

5月10日(火)	東混練習場	18:30~21:00	ロシア民謡
14日(土)	プレース24	18:00~21:00	世界の歌◎
17日(火)	東混練習場	18:30~21:00	ロシア民謡※
■19日(木)	プレース24	"	子供の歌
21日(土)~22日(日)	現役「東京六連」		
24日(火)	東混練習場	18:30~21:00	月下の一群
28日(土)~29日(日) 合宿 ロシア民謡中心※			
31日(火)	東混練習場	18:30~21:00	子供の歌☆
6月5日(日)	プレース24	13:30~15:30	ロシア民謡
		16:00~18:00	世界の歌◎
7日(火)	東混練習場	18:30~21:00	月下の一群
14日(火)	"	"	月下の一群
	現役「早慶交歓演奏会」ゆうぼうとミニ合宿		
■18日(土)	奉仕園	14:00~21:00	
19日(日)	現役「東西四連」大阪フェス		
21日(火)	東混練習場	18:30~21:00	ロシア民謡※
24日(金)	プレース24	"	世界の歌◎
■28日(火)	"	"	ロシア民謡※
	(バラライカ楽団と音合せ)		
■30日(木)	"	"	ロシア民謡※
7月2日(土)	大橋区民会館	13:30~16:00	世界の歌◎
	ワグネルOB演奏会18時・都市センターH		
■3日(日)	奉仕園	14:00~17:00	子供の歌☆
5日(火)	東混練習場	18:30~21:00	月下の一群
6日(水)	プレース24	"	ロシア民謡※
	(バラライカ)		
8日(金)	"	"	ロシア民謡※
9日(土) 第22回・稲グリ定期演奏会 サントリー大ホール			

■=追加練習、練習場注意  
◎=桜楓合唱団、桜友女声合唱団と合同練習  
☆=磯部徹さん(17)出席  
※=指揮・堀俊輔さん(50)、ソロ・岡村喬生さん(29)出席

## B会員の皆様へ

B会員として早大グリーンOB会にご登録の方(全国約一七〇名)には、従来の規定により定期演奏会の自由席券を一枚贈ることになっております。が、今回の第二十二回定演につきましては、①純粋な自由席券がないB券は準指定券②サントリーホールに入場定員数を厳守しなければならぬ③収益面で相当厳しいという理由で取り止めとさせていただきます。ご承認をお願いいたします。

昭和六十三年五月  
早大グリーンOB会・幹事会

## 出席状況

	4/12	19	21	26	5/1	3	7
T <sub>1</sub>	8	12	8	11	8	8	10
T <sub>2</sub>	12	12	7	14	11	7	7
B <sub>1</sub>	9	10	9	15	8	7	10
B <sub>2</sub>	19	17	13	14	14	13	11
	48	51	37	54	41	35	38

◎=混声合同

たいものです。出演メンバー各位には出来るだけ新しいチケットを開拓していただき、一方、B会員、未登録会員の方には特に割当て等はしません。演奏会の宣伝及びチケットの多額お買い上げをお願いいたします。サントリーホールは定員厳守のためチケットが退蔵されるとその分は空席になりますので、この点チケット販売に当たって十分ご配慮願います。

申込み先はチケット販売責任者清水実君(三八卒)、年度幹事、その他を通じて下さい。

# 出演メンバー増を図ろう

## チケット割当て残の解消が急務

定演チケット販売責任者 清水 実(三八)

今回定演チケットの販売責任者という大役を仰せつかって「エツ！」というところでありますが、精一杯頑張つて是非成功させたいと思つていますので、皆様の絶大なご協力をお願いする次第です。

さて、出演メンバーの割当ては左記囲みの通りです。現在のところ八十五名分を用意していますが、五月一日以降まだ練習にきていないメンバーには早急に手渡したいと思ひますのでよろしくお願ひいたします。

メンバー以外のところへの委託  
桜楓合唱団様 六〇枚

桜友女声合唱団様 六〇枚

ワグネルOB様 四〇枚

新月会様 一〇枚

東京クローバークラブ様 一〇枚

現役諸君 五〇枚

## チケット割当て

■54年卒以前のメンバー			
S券(3,000円)	4枚	12,000円	
A券(2,500円)	6枚	15,000円	
B券(1,500円)	6枚	9,000円	
	(計)	36,000円	
■55年卒以降のメンバー			
S券	4枚	12,000円	
A券	6枚	15,000円	
B券	4枚	6,000円	
	(計)	31,000円	

## 合宿

日時 五月二十八日(土)～二十九日(日)

場所 河口湖

「ロッジ・コニシ」  
山梨県南都留郡河口湖町  
木立白木四三九一

☎〇五五五―七三―二七六六  
携帯品 楽譜、寝間着、着替え  
洗面具、持病の薬

出来れば「喉の消毒薬」  
村役人 村長 小俣泰英(三八)

助役 佐藤公俊(四八)

案内書は別途練習場に用意して  
います。

## 《大阪稲グリ・上海演奏旅行(九月十五日～十八日)》

### 準備着々、メンバー四十名が名乗り

大阪稲グリによる今秋のビッグイベント「上海演奏旅行」は目下着実に計画が進められている。以下は、五月二日、東京側担当の小俣マネ(三八)が大阪側の田村チーフマネ(三九)より電話取材した内容。

【送り出し側】  
日中友好協会(大阪)。担当者  
が同行する予定。

【受け入れ側】  
上海市人民対外友好協会(会長  
季寿葆氏ほか早稲田に留学経  
験のある陸明海、張国平の両氏  
現地でのいろいろ世話を焼いてく  
ださる曹峰女史らの皆さん)

【懇親会の相手】  
上海稲門会(会長・高原氏)日  
本航空上海空港支店長)  
【ジョイント団体】  
未定。デモテープを送り、同レ

### 参加予定メンバー

五月二日現在 総数四〇名

- 山路(三二)、有田(四一)
- 宮本(四二)、嶺重(六二)
- 長尾(二四)、小俣(三八)※
- 石島(三九)※、貝塚(三九広島)
- 津下本(ワグネルOB・三八)

## 静岡の山下さんから六十本も!!

### 「稲グリ定演」アンケート用鉛筆募集」に込めて

本紙四月十日号の「ゴルフスコア用鉛筆募集」の記事に早速反響があり、このほど静岡・清水市の山下聡さん(三七)から稲グリ新聞編集局に六十本ものスコア用ボールペンが送られてきました。

一枚の紙の裏表にボールペンがセロテープでビッシリ繋がれて出てきたのを見て編集局は感激、早速五月三日の練習日にメンバーに紹介したところ、「子供の歌」指揮者の磯部さん(一七)からも二十本ほどの鉛筆寄贈があり担当者安斎さん(四七)も大喜び。

以下、山下さんからの手紙。  
「拝啓  
風薫新緑の候となりましたが編集局の皆様も益々お元気で活躍の様子、紙面の端はしに感じられます。

在京の皆さんは七月九日の定期に向けて、仕事の合間を有効に活用し練習に余念がない様子が目に浮かびます。卒業以来、田舎に引

っ込んでしまつて、たまに同級会に出たり、稲グリのアナウンスを聴かせてもらつたりが私とグリーの接点で、日頃あまり協力も出来なく申し訳なく思つております。

そんな意味ばかりではありませんが、四月十日号の新聞で、安斎真治さんがゴルフスコア用の鉛筆を求めていましたので同封します。何かの役にたつと思つて、とつておいた訳ではないのですが、何時の間にか増えていました。電話のそばのメモ用とか、知り合いにメモ用に欲しいといわれたり位にしか役にたたない鉛筆が、やつと私の出番が巡ってきたと顔を紅潮させて喜んでいきます。鉛筆に成り代わりまして仕事の場を与えてくださつたことに御礼申し上げます。

七月九日のサントリイホールは是非聴かせていただくつもりです。皆様のご活躍と演奏会の成功を心からお祈りします。

四月二十四日  
四二四清水市辻三―四―三〇  
稲グリ新聞編集局殿 山下 聡(三七)

【T.】十名  
浅井(三五)、鎌田(三五)  
小椋(三九)、田村(三九)

津田(二二)※、岡田(三七)※  
関口(三七)※、桜井(三九)※  
池野(三九・盛岡)

【B.】八名  
坪井(二八)、富永(三五)

豊田(三五)、三宅(三五)

西(四三)、竹野(五四)

岩本(三九)※、阪口(三九)※

【B.】十三名  
須賀(三〇)、田口(三〇)

辻(三四)、松並(三五)

阿部(四一)、藤本(六二)

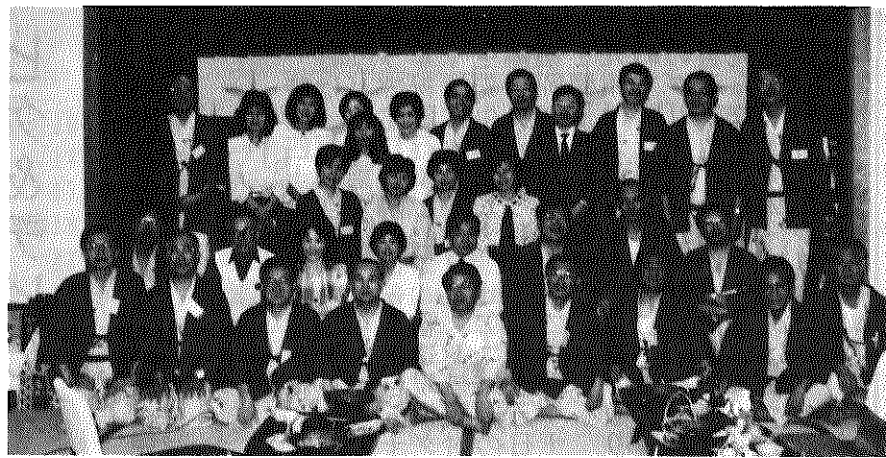
P・フィンケ  
永杉(二八)※、新田(三〇)※

山下(三七・静岡)

清水(四〇)※  
柿沼(五三・名古屋)

佐々木(五九)※  
(※東京メンバー)

☆これらに家族十五～二十名が  
同行する予定。



《三十八年卒同期会》  
**奥方連十一人も初参加、**  
**黄金カルテットも飛び出す大盛会だったのだ**

「一度温泉でやろう」と会う度に言い続けて卒業後二十五年、やっと三十八年卒一同、東京を離れての同期会が実現した。四月十六・十七日、会場は熱海後楽園ホテルである。

三十四人中二十二人が奥さん十人とともに車で、新幹線で駆けつけ、一風呂浴びてから宴会場に集合。初の奥方同伴とあって、席を決めるときから「須山の女房とウチのを並べるとまずい」と早くも高野が席順に細工するなど波乱含みでスタート。

幹事の長岡が立ち、お世話になった岡武秀社長(二九)のあいさつと、一人ずつ近況報告。キリスト教会のPRを盛り込んだユニークな岩田から始まった報告は、定演チケット購入についての清水の呼びかけをはさんで延々と続く。子弟の教育費がかさむ世代とあって、「今日は金がなく女房を置いて私だけ参加」という声が何人から出たのに対し、「金ならいくらでも」と豪語する者も入り乱れる。その間もビデオカメラを回し続ける速藤。

かわつて奥さんが次々と立って連れ合いの悪口を言い出すころには宴もたけなわ。そして、ホテルのお運びさんが準備してくれたカ

ラオケには目もくれず、加藤の指揮で歌い始めること十数曲。宴会時間大幅オーバーで淡い顔のお運びさんたちに無理矢理サーブビス笑顔を作らせるといふ稲グリ得意の盛り上がりで一次会終了。

二次会は部屋へ移り、持参のウイスキーなどを飲みながら、またまた何曲か。清水、北村、鉦鹿、金井の「黄金カルテット」も復活、その脇では小俣、手島、岡本、柿沼が演奏旅行の女風呂のぞきの思ひ出話。大古殿が遠来の疲れも見せずご婦人方をからかひまくれば、榎本、大橋、小坂、西川、西田、広沢が合宿の苦勞話から子供の自慢まで思いつくまましゃべりまくる。一いつくましましやべりまくる。いーというパターンが展開、ついに起き上がれなくなる者も出て、未明にお開きになった。(敬称略)

文・神谷 紀一郎

《卒業二十周年記念・四十三年卒同期会》  
**大隈会館にグッドフレンド集う**

稲グリへの参加率、協力度では肩身が狭いものの、結束力では負けない。そんな四十三年卒の「卒業二十周年記念同期会」が、四月十六日(土)、午後六時から大隈会館で行われた。

久しぶりのキャンパスはちょうど新入生へのサークル勧誘時期で女子学生がワンサカ。「早稲田ってこんなにも女子学生が多かったか」と驚く。あとで聞けば、他の大学から早稲田のサークルに入会に来ているという。ヒューン。今昔の思い深し。二十年遅く早稲田に入るべきであった。

この二月の「ハワイ合宿」に引き続いての同期会は始めから一気の盛り上がりを見せる。二十年振りに会って一瞬にして現役当

時にタイムスリップする不思議さ。同じ時代を共有した者だけに相通じる連帯感。

内山、三浦の両幹事を中心に無類の結束を誇る四十三年卒は、不惑の年を超えて身体的には変化の兆しが見えるものの、ハートの若さは皆同じ。大張り切りの木村、やつと年齢に顔が追いついてきた佐野、相変わらずスリムな服部、内田、賑やかさではかなわない大塚、久し振りの西沢、野田、大人しいが存在感のある今道、仕事を抜け出して駆けつけた東郷、大阪弁が懐かしい笹岡、美声変わらぬ水野、ニコやかな沢、そして「誰かー〇ー」が有りましたらお分け下さい。」と美野輪、もの静かな安井。

宴は、大隈会館から早大キャンパス、六本木へと続き、昔ながらのハーモニイが心地よく響く。トッブ五人の強力布陣も、指揮の木村のツヤと音量にかなわぬが、ともかく合唱、合唱。締めくくりは「遙かな友に」。城須美子先生の納骨で歌ったこの歌がいつまでも記憶に残る。あの豪快な笑い声をもう聞けないとは……。

四十三年卒から稲グリへの「人身御供」として孤軍奮闘の服部、同期の要として常に労をいとわぬ内山、三浦、そしてゴールデンウイークも稲グリ新聞一筋にボランティアの頼原先輩、感謝、感謝。最後に、稲グリのますますの活躍を祈って、乾杯!

文・安井 宏次

《第15回・早慶交歓演奏会》

- 早大グリークラブ  
 「岬の墓」指揮 植本英一 「北斗の海」指揮 早武 淳
  - 慶応ワグネル  
 「シューベルト男声合唱曲集」指揮 畑中良輔  
 「わがふるき日のうた」指揮 稲田憲彦
  - 合同演奏「ドイツ男声合唱曲集」指揮 福永陽一郎
- 6月14日(火)五反田・ゆうぽうと  
 5時30分開場、6時開演 全席自由 ¥1,300

《第37回・東京六大学合唱連盟定期演奏会》

- ☆慶応ワグネル「Missa Pange lingua」指揮 皆川 達夫
  - ☆東大コールアカデミー「ダビデさん悔詩篇曲集」指揮 前田幸市郎
  - ☆法大アリオンコール「おとずれ」指揮 田中 信昭
  - ☆明大グリークラブ「ガルシア・ロルカの五つのシャンソン」指揮 未定
  - ☆立大グリークラブ「コダーイ合唱曲集」より指揮 北村 協一
  - ☆早大グリークラブ「フォスター名曲集」指揮 福永陽一郎
  - ※合同演奏「Negro Spirituals」指揮 植本 英一
- 5月21日(土)五反田ゆうぽうと 4:30開場/5:00開演  
 ¥1,200 (全席自由)  
 22日(日)東京文化会館大ホール12:30開場/1:00開演  
 A ¥1,300 (当日指定)、B ¥1,000 (自由)

第22回稲門グリークラブ定期演奏会  
**プログラム広告募集**  
 (7月9日サントリーホール)

- A4判 24頁 2,000部
  - 広告サイズ及び料金
- |    |      |           |          |
|----|------|-----------|----------|
| 表4 | 1頁   | 18×26.5cm | ¥150,000 |
| 中面 | "    | "         | ¥100,000 |
|    | 1/2頁 | 18×13cm   | ¥50,000  |
|    | 1/4頁 | 18×06cm   | ¥30,000  |

■お申込み締切=6月14日(火)  
 ■担当 頼原信二郎(42) ☎03-360-3336 (自)  
 03-291-1566 (勤)

# ヒゲ&チビのオタマジャクシ 九州を泳ぐ!!

大隈重信侯生誕百五十周年祝賀会特ステ——福岡、佐賀の旅

現役四年 外政マネージャー 山下 秀敏

一時間四十分の空の旅を終えた一行は、福岡空港からホテルに向かうバスに乗り込みました。……そうです。大隈重信侯生誕百五十周年祝賀行事として、私達現役グリーは、大先輩でソリスの岡村喬生先生(二九)、ピアニストの伊藤康英先生と共に、四月十五日に福岡、十六日に佐賀でコンサートを開催したのであります。

九州は気候もよく、東京で散り始めていた桜も満開で、ネクタイ姿のグリーメンが花見をしながら弁当をひろげるといふ光景が随所で見られました。

さて、演奏会「ワセダは歌う」では、岡村先生がヨーロッパの思いで出を歌とお喋りで綴られ、ワセ

グリーは黒人霊歌と日本の歌のステイジを。そして合同で山田耕作作品集を披露しました。両日とも立ち見が出る程の盛況で、さすがは老侯の地元・九州、早稲田精神は健在なり——と実感した次第です。

今回のこと、今まで恐れ多く近づけなかつた岡村先生と、二ヶ月の打ち合わせ以来、合同練習、本番の演奏と、正に一緒に練習してステージを創り上げられたことは、現役一同、大きな喜びとするところです。また、伊藤先生、福岡の坂口征雄さん(三六)、佐賀の森建介さん(四一)をはじめとする現地稲門会の皆様、快く楽譜をお貸しいただいた稲門グリークラブの皆様、に厚く御礼申し上げます。

「朝日新聞四月三十日付け朝刊(全国版)」

# 自分と出会う

磯部 倅 (作曲家)

## 「遙かな友に」が広げる輪

美しく流れていきました。は縁が薄く、その点では私も小学校一年生の時に父を失い、貧しい少年時代を過ごした私でしたが、この映画の場面は、とても印象的で、お金もなくて、とてもいいから、みんなに愛された。昭和二十六年の夏、美しい歌われる曲を作りたい、と誰か、涙流道志川の前で、早稲田大学グリークラブの合唱の指導

私がまだ十代の少年時代に、ドイツから来た「未完成交響楽」という映画を見ました。フランス・シューベルトの交響曲第八番を基調に、シューベルトの有名な美しい歌の数々が全編に流れる素晴らしい作品でありました。

その中で、下宿代にも窮したシューベルトが、自分の大切なギターの弦を入れる場面があります。「シューベルトさんおな

たの曲はどてもみんなに愛唱されてるのに、どうしてお金に困るのですか」と聞くと、貧乏の娘に「彼は私の歌は頼りませう、みなさんがすぐ覚えてしまうので楽譜が売れないのです」と話すバックに、女の人たちが洗濯場で歌う「ほたい樹の合唱が

# 「情けねえ……」のでした

早稲田四位に終わる——六連スポーツ大会

現役三年 六連サブマネージャー 青木 智

去る五月一日(日)、真夏と錯覚するような暑さの中、立教大学グラウンドに於いて、六連スポーツ大会が行われました。昨年は三種目でしたが今年にはソフトボール一種目に集約され、ワセダグリーは上級生が年度始めの超過密スケジュールで軒並みグロッキーのため、おのずから一年生主体の若いチームとなったのでした。こうなると監督は、新入生練習の演奏責任者である副学生指揮者・高橋弘行(三年)が立候補するわけですね、かつて所属していたという野球サー

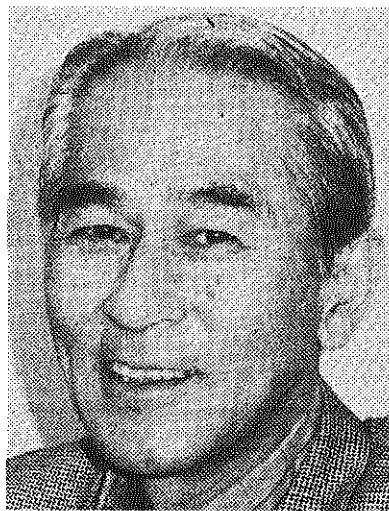
クルのユニホームで登場。文字通り棒を振り回して部員を指揮し、ムードを盛り上げてくれました。残念ながら結果は、優勝は長島ジュニアの活躍に湧くフランチャイズの立教、準優勝は教授辞職で揺れる東大にさらわれ、首相の息のかかる我が早稲田は四位に終わってしまいました。とは言え、日頃の運動不足を痛感しながらも、気持ちよい汗をかけた一日でした。出場してくれた皆さん、お疲れ様でした。演奏では優勝目指して頑張りましょう。

号る5月 月れ欄  
「音楽の友期待者」  
「活躍が指揮者」  
若手



堀俊輔 (ほりしゅんすけ) 並々ならぬ才能を内に秘めた俊秀

1950年大阪府生まれ。東京芸術大学で指揮を佐藤功太郎に、作曲を尾高惇忠に師事した。80年芸大卒業と同時に新響日響、神奈川フィル等に客演した。87年秋山和慶の推薦を受けて東響に指揮研究員として入団後、コンサートの指揮の他、誕生まもない「東響コーラス」を第一級の合唱団に育て上げ、「第九」、マラーの「復活」、ヴェルディのレクイエムを成功に導いた。(C)



いそべ、とし 大正6年、東京生まれ。早大文学部卒。昭和30年「ろぼの会」を主催、中野喜直氏らと重演運動を起す。日本重演賞、モービル児童文化賞など受賞。

つから来たケルン男声合唱団などは薄日がもれました。白い霧にどが、突然、日本語でこれを歌ったときには、驚きもし、とて前にも立たない私、合唱をともにあれこれ思いました。

三年ほど前に、早稲田出身のボニー・ジャックスが演奏のために津久井を訪れた際、地元の方たちと、ゆかりの地に「遙かな友に」の歌碑を建てては、と、いふ話が出て、その輪はどんどん広がりました。

西脇久夫君を中心とするボニー・ジャックス、早稲田グリークラブのOBたち、また津久井の地元の方々、それに全国の合唱愛好者のみなさんの熱意で、昭和六十一年七月十三日、午前中の大雨がそのようにやる前中、青根の歌碑除幕式の会場に願っています。

# 編集後記

四月三十日の土曜日夜、福井事務所に幹事十名が集合して、チケットのハンコ押し、仕分け、袋詰めなどの作業が行われました。私のような若僧はともかく、会社では相当偉い人達が腕捲りして終電もなくという時間まで頑張っているのです。エライッ！チケットのずれたハンコにも愛着を持って完了したいものです。(S)

四月二十六日の練習日に「武蔵野合唱団」の山極(やまぎわ)团长ほか二名の幹事が見えて稲グリーにメンバー援助の要請がありました。六月八日、九日にマラーの「復活」を演奏するに当たり男声メンバーが足りないとのこと。小林研一郎・日フィル。稲グリーも他の合唱団から頼りにされるようになったのです。練習日は火又は木曜日。余裕のある人は是非。詳しくは練習場に資料が。(E)

大型ゴールデンウィークも今日でおしまい。今号も予定通り校了にすることが出来てホッとしています。定演まであと二ヶ月、「仕上げ」の時期到来というところでしよう。次号は、各ステージの指揮者からのメッセージなどを予定したいと思えます。それでは、今宵はこれまでとさせていただきます。五月九日午前〇時 (E)